



システム構成

ARIS インターフェイスから SAP システムへ

バージョン 10.0 - Service Release 2

2017 年 10 月

This document applies to ARIS Version 10.0 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010 - 2017 [Software AG](#), Darmstadt, Germany and/or Software AG USA Inc., Reston, VA, USA, and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name Software AG and all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA Inc. and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

Detailed information on trademarks and patents owned by Software AG and/or its subsidiaries is located at <http://softwareag.com/licenses>.

Use of this software is subject to adherence to Software AG's licensing conditions and terms. These terms are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

This software may include portions of third-party products. For third-party copyright notices, license terms, additional rights or restrictions, please refer to "License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products". For certain specific third-party license restrictions, please refer to section E of the Legal Notices available under "License Terms and Conditions for Use of Software AG Products / Copyright and Trademark Notices of Software AG Products". These documents are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

目次

1	システム構成.....	1
1.1	ARIS.....	1
2	SAP システム	4
2.1	SAP 移送依頼.....	4
2.2	SAP システム要件と権限	8
2.2.1	SAP 同期の権限	9

1 システム構成

ARIS には、ARIS と SAP システムを接続するためのさまざまな製品とインターフェイスがあります。この章ではインターフェイスについて説明します。

提供されている機能によっては、ほかの調整が必要になる場合があります。

- SAP 同期を使用する
- カスタマイズ トランザクション/ビューを使用する
- ARIS Publisher を使用する場合は、SAP システムへの接続を設定する必要があります。
- ユーザーが SAP システムで作成され、必要な権限『7 ページ』が与えられていることを確認します。
詳細情報は『サーバー インストールおよび管理マニュアル (英語)』およびヘルプを参照してください。

1.1 ARIS

ARIS のインターフェイスを使用すると、ARIS と SAP システムを接続するために必要なすべての機能が使用できます。

必要な機能の範囲によっては、sapjco3.jar ファイルをクライアントのコンピューター上または ARIS Design Server に配置する必要があります。または、その両方に配置する必要があります。このコネクタは、SAP アクセス パラメーターを使用して SAP システムへの接続を作成するために使用されます。ライセンス上の理由から、これらのファイルは自動的にインストールされていない場合があります。sapjco3.jar は、次の機能の実行に必要です。

- 同期 (ARIS Design Server/ARIS Connect サーバー)
- トランザクション実行 (クライアント)
- 設計を表示 (クライアント)
- 設定を表示 (クライアント)
- 文書 (クライアント)

これらのクライアント機能の実行には、ローカルの SAP GUI for Windows (7.1 ~ 7.4) をインストールする必要があります。

次のグラフィックは、上の機能を実行する際の各システムとコンポーネントのインタラクションを示します。

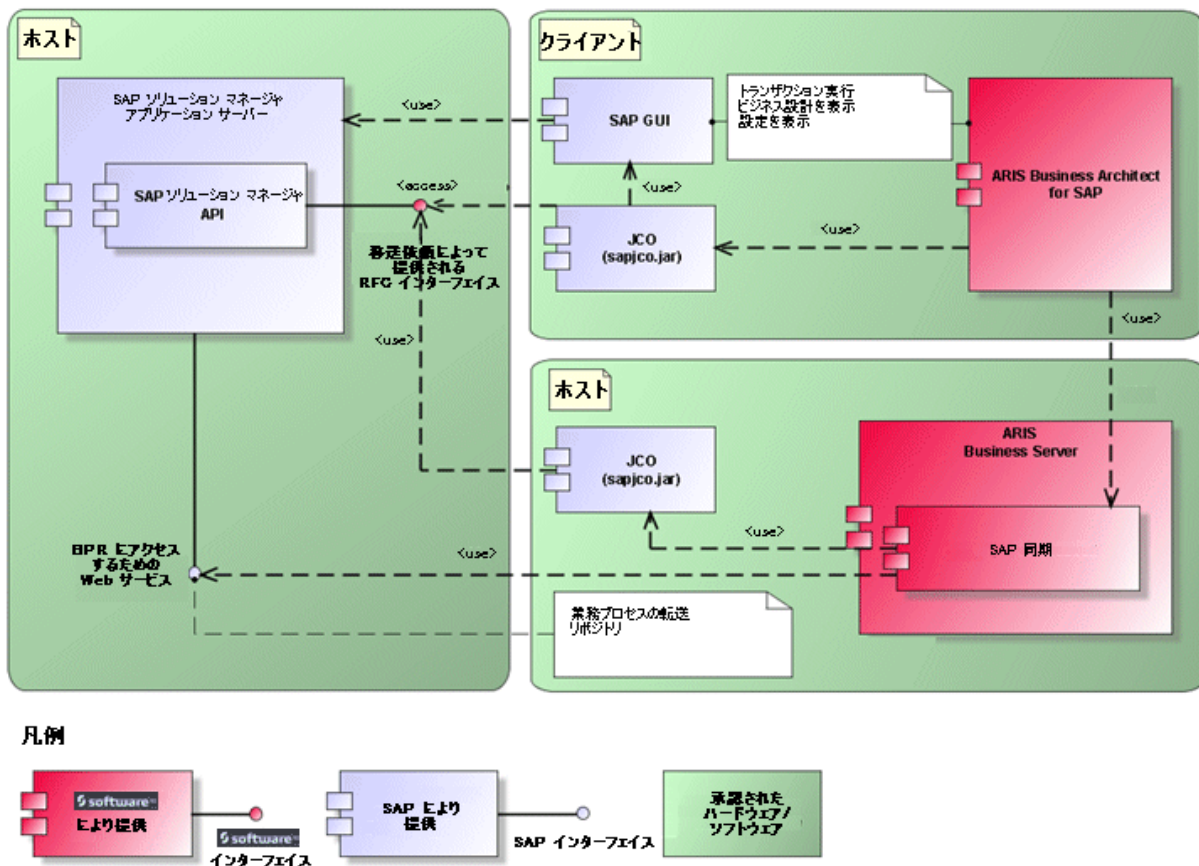


図 1: SAP 同期、トランザクションの実行、設計の表示

同期の機能を使用するには、サーバーで SAP Java Connector を使用できるようにしてください。また、バージョン 3.2 の SAP ソリューション マネージャが必要です。

Software AG RFC インターフェイスは、SAP ソリューション マネージャの内部 SAP API をカプセル化します。インターフェイスによるコールはすべて、SAP 専用ファンクションと SAP により使用されるファンクションを使用します。これにより、SAP における変更がインターフェイスに対して最大限に透過性を持つようになります。

ARIS と SAP ソリューション マネージャ間の SAP 同期を確実に使用できるようにするため、管理者は現在の移送依頼を SAP システムにインポートする必要があります。移送依頼は、インストール媒体 (.../Add-ons/ARIS_Architect_extension_pack_SAP/ABAP/Solution Manager/) にあります。汎用モジュールは、/IDS/ARIS_SOLAR_001 ファンクション グループの /IDS/ARIS_SOLAR パッケージの中に作成されます。

次のグラフィックは、カスタマイズ トランザクション/ビューの実行 (クライアント) 機能を実行する際の各システムとコンポーネントのインタラクションを示します。

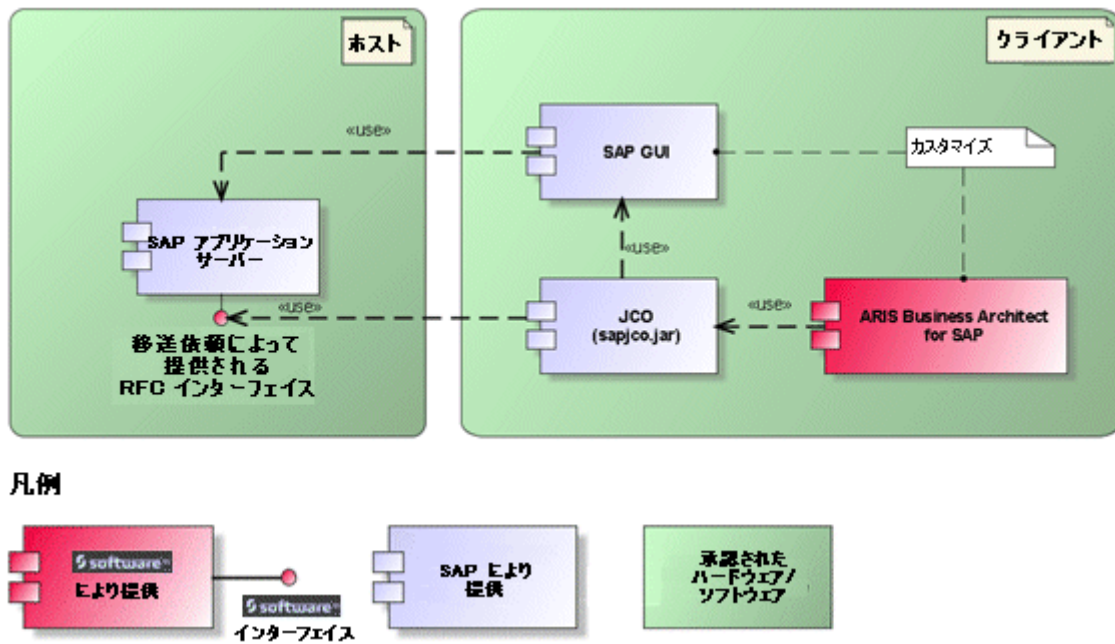


図 2: カスタマイズ

カスタマイジングへの RFC インターフェイスは合理化されており、ARIS でパラメーターとして指定したビューを使用してビュー編集トランザクションを呼び出すために使用できる機能モジュールが 1 つあります。

2 SAP システム

提供される機能にしたがって、さまざまな移送依頼をインポートし、ユーザーを作成して権限を割り当てる必要があります。

2.1 SAP 移送依頼

SAP システムにアクセスするためには ARIS では特定の機能モジュールが必要となります。

SAP 同期

ARIS と SAP ソリューション マネージャー間の SAP 同期を確実に使用できるようにするため、管理者は現在の移送依頼を SAP システムにインポートする必要があります。移送依頼は、インストール媒体 (.../Add-ons/ARIS_Architect_extension_pack_SAP/ABAP/Solution Manager/) にあります。汎用モジュールは、/IDS/ARIS_SOLAR_001 ファンクション グループの /IDS/ARIS_SOLAR パッケージの中に作成されます。

次のオブジェクトが移送依頼に含まれます。

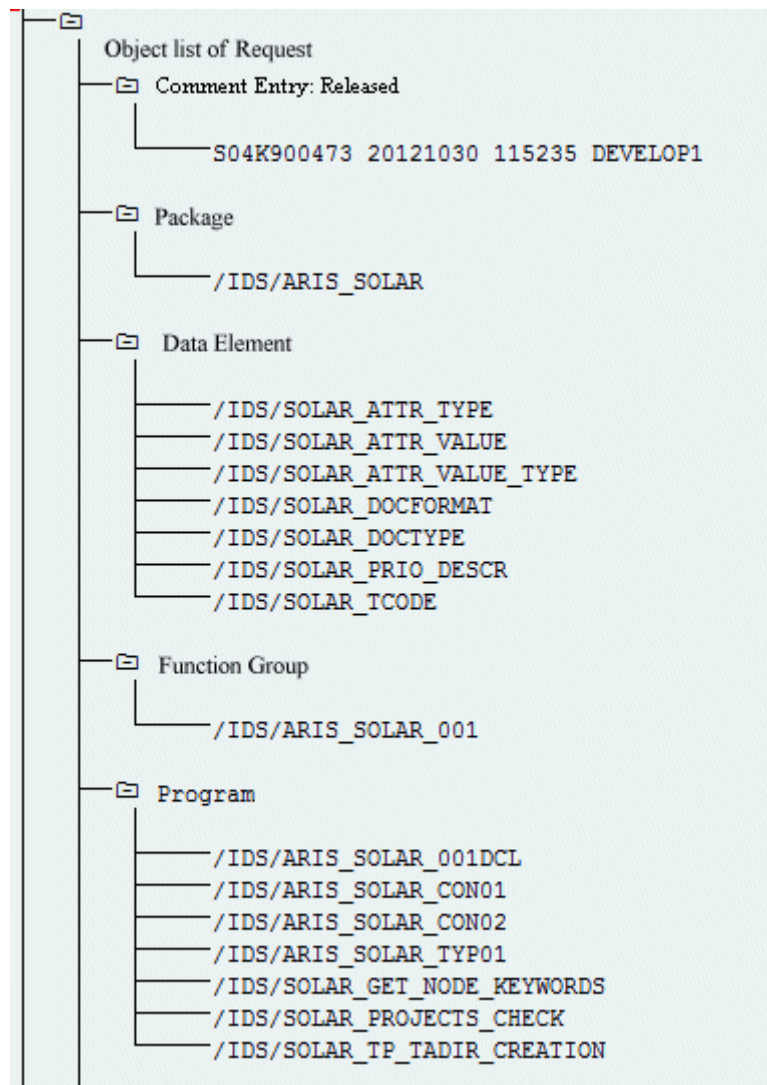


図 3: 移送依頼: SAP 同期 (1)

The image shows a screenshot of a database schema tool. It displays two sections: 'Table' and 'Table Type'. Each section contains a list of database objects with their full names, including the schema path. The 'Table' section lists 27 objects, and the 'Table Type' section lists 17 objects. Each object name is preceded by a horizontal line and a small square icon, suggesting a tree view structure.

Table
/IDS/SOLAR_ATTR_LINE
/IDS/SOLAR_COMP_LINE
/IDS/SOLAR_DOCT_TO_STATES_LINE
/IDS/SOLAR_FUNC_VERS_S
/IDS/SOLAR_GLATT_LINE
/IDS/SOLAR_INST_COMPS_S
/IDS/SOLAR_KEYWORD_LINE
/IDS/SOLAR_MAPPING_LINE
/IDS/SOLAR_NODE_S
/IDS/SOLAR_PROD_COMP_S
/IDS/SOLAR_PROD_CONFLICT_S
/IDS/SOLAR_PROD_INSTANCE_S
/IDS/SOLAR_PROJECT_STATUS_S
/IDS/SOLAR_PROJ_DOC
/IDS/SOLAR_PROJ_PERMISSION_S
/IDS/SOLAR_ROLE_LINE
/IDS/SOLAR_SELECT_VALUE_LINE
/IDS/SOLAR_STARTREL_2_S
/IDS/SOLAR_STARTREL_LINE
/IDS/SOLAR_TPROJECTT_EXTD_LINE
/IDS/SOLAR_TPROJECTT_LINE
/IDS/SOLAR_TRANSACT_LINE
/IDS/SOLAR_USED_CONTEXT_LINE
/IDS/SOLAR_VERSIONS_S
/IDS/SOLAR_VERS_CONFLICT_S

Table Type
/IDS/SOLAR_ATTR_SELECT_VALUES
/IDS/SOLAR_ATTR_TAB
/IDS/SOLAR_COMP
/IDS/SOLAR_COMPS
/IDS/SOLAR_DOCT_STATES_MAPPING
/IDS/SOLAR_GLATT_TAB
/IDS/SOLAR_KEYWORD_T
/IDS/SOLAR_MAPPING
/IDS/SOLAR_PROD_COMP_T
/IDS/SOLAR_PROD_CONFLICT_T
/IDS/SOLAR_PROJ_DOCS
/IDS/SOLAR_STARTREL_TAB
/IDS/SOLAR_TPROJECTT_EXTD_TAB
/IDS/SOLAR_TPROJECTT_TAB
/IDS/SOLAR_USED_CONTEXT
/IDS/SOLAR_VERSIONS_T
/IDS/SOLAR_VERS_CONFLICT_T

図 4: 移送依頼: SAP 同期 (2)

カスタマイズ

IMG トランザクション (カスタマイズ トランザクション) を開始して、ARIS からカスタマイズ ビューを開くことができるようにするには、現在の移送依頼を SAP システムにインポートする必要があります。移送依頼は、インストール媒体の Add-ons¥ARIS Architect extension pack SAP¥ABAP¥Customizing にあります。汎用モジュール IDS/VIEW_MAINTENANCE_CALL は、IDS/ARIS_CUSTOMIZING ファンクション グループに作成されます。この汎用グループは、IDS/ARIS_CUSTOMIZING パッケージに割り当てられます。

次のオブジェクトが移送依頼に含まれます。



図 5: 移送依頼: カスタマイズ

2.2 SAP システム要件と権限

SAP ソリューションのプロセス指向型管理を使用する場合は、これらの要件を満たす必要があります。詳細については DVD にある ARIS - Process-driven Management for SAP.pdf を参照するか、ARIS ダウンロード センター『aris.softwareag.com 参照』または Empower『<https://empower.softwareag.com/>参照』にアクセスしてください。

SAP 同期、トランザクション/実行可能プログラムの実行、設計の表示

ローカルにインストールされている SAP GUI for Windows がすべてのクライアント コンピューターに存在することを確認します。トランザクションを実行するには、次のいずれかの言語の SAP システムが必要です。ドイツ語 (de)、英語 (en)、フランス語 (fr)、スペイン語 (sp)、または日本語 (ja)

- Windows のローカルにインストールした SAP GUI、バージョン 7.1 ~ 7.4
- SAP R/3 4.6 c または d、4.7
- ECC 5.0/ECC 6.0 (de, en, fr, sp, ja)
- すべてのクライアント コンピューター、ARIS サーバー、ダウンロード クライアントの SAP JCo
- SAP ソリューション マネージャ 7.1 で移送依頼を移送します (同期およびカスタマイズ)。

SAP ソリューション マネージャ 7.2 では、以前のソリューション マネージャ 7.1 プロジェクトをソリューションに移行する場合に、同期のための移送依頼のみが必要になります。

ソリューション マネージャ同期については、SAP Java Connector 3.07 以降の 3.0x バージョンも必要です。これは、ARIS Design Server またはローカル サーバーにインストールされている必要があります。ARIS と SAP システムの間のデータ転送を適切かつ確実に動作するためには、以下の点に注意してください。

- ユーザーが SAP システムで作成され、RFC 権限を与えられていることを確認します。
SAP ポート sapgw00 3300/tcp および sapdp00 3200/tcp が、クライアント コンピューター (C:¥Windows/system32/drivers/etc/services) の Windows Services ファイルで有効になっていることを確認してください。通常、SAP GUI をインストールする際に、これらのポートは自動的に追加されます。
- アクセス用サーバー グループ (SAP ルーター) を使用する場合は、順序どおりに SAP ポートを手動で入力する必要があります。デフォルトでは、ポート番号の構文は、「3300 + 使用している <SAP システム番号>」が使用されます。たとえば、システム番号が「03」の場合は、ポート番号「3303」を入力する必要があります。順序どおりに入力されていないエントリは無視されます。

ソリューション マネージャ同期を実行するには、ドイツ語 (de)、英語 (en)、フランス語 (fr)、スペイン語 (sp)、および日本語 (ja)、あるいはそのいずれかの言語を使用する SAP ソリューション マネージャのバージョン 4.0、7.0、7.1 または 7.2 が必要です。ショートカットは SAP 同期でサポートされています。SAP ソリューション マネージャ 7.1 バージョン 4.0 SP 15 以降でショートカットを利用することができます。

ARIS オンライン ガイド

- Windows のローカルにインストールした SAP GUI、バージョン 7.1 ~ 7.4
- SAP R/3 4.6 c または d、4.7
- ECC 5.0/ECC 6.0 (de, en, fr, sp, ja)
- または SAP ソリューション マネージャ 4.0、7.0、7.1 または 7.2

2.2.1 SAP 同期の権限

この機能にアクセスするためには、ユーザーに特定のロールが SAP システムで割り当てられている必要があります。これにより、ユーザーは必要な権限のすべてを持つことができます。次のロールを割り当てる必要があります。

- 事前定義されたロール「SAP_SOLAR01_ALL」
- 事前定義されたロール「SAP_SMSY_ALL」(読取権限)
- RFC 権限で定義する必要があるロール

定義する必要があるロールは、PFCG トランザクションを使用して作成します。認証オブジェクト S_RFC および S_RFCACL をロールに割り当てます。

認証オブジェクト S_RFC の値

入力する必要がある値を図で示します。

[ACTVT] ボックスで [実行] アクティビティを選択します。

[RFC_NAME] ボックスで、保護する RFC オブジェクトの S_RFC 認証オブジェクトに入力するすべての名前を見つけます。選択した入力項目 SDIFRUNTIME、STFC、IDS/ARIS_SOLAR_001 を追加する必要があります。

[RFC_TYPE] ボックスで、[ファンクション グループ] タイプを選択します。

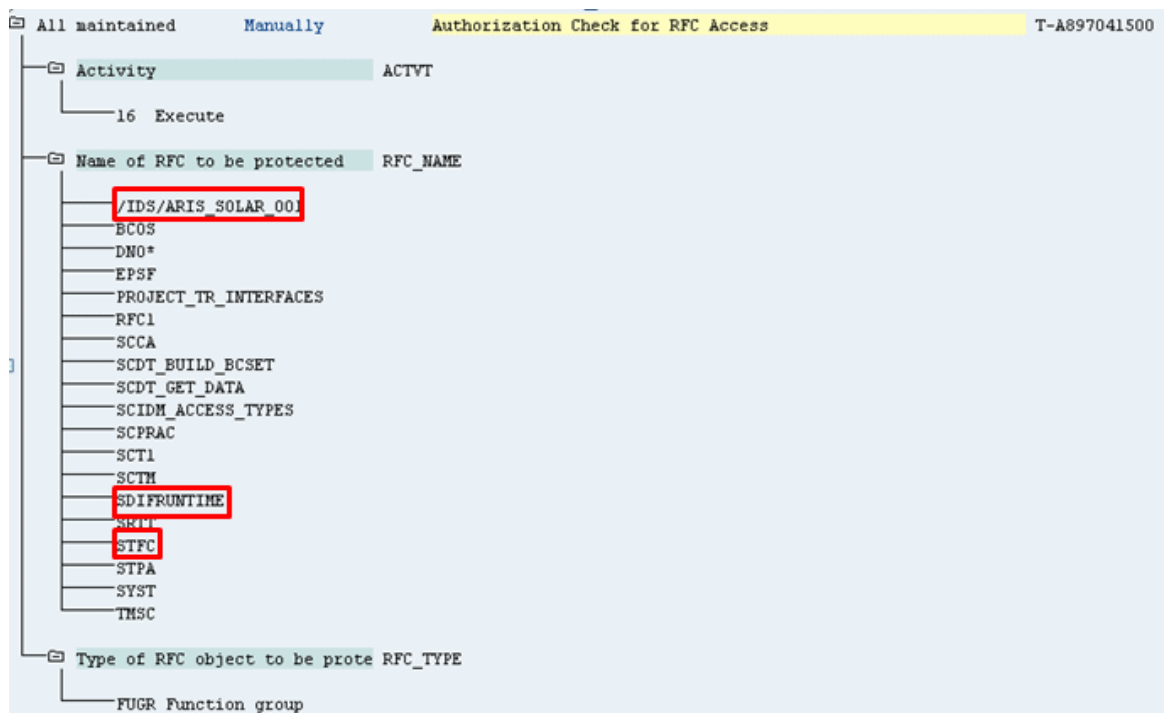


図 6: 「S_RFC」認証オブジェクト

認証オブジェクト S_RFCACL の値

認証オブジェクト S_RFCACL にはすべての権限が必要です。

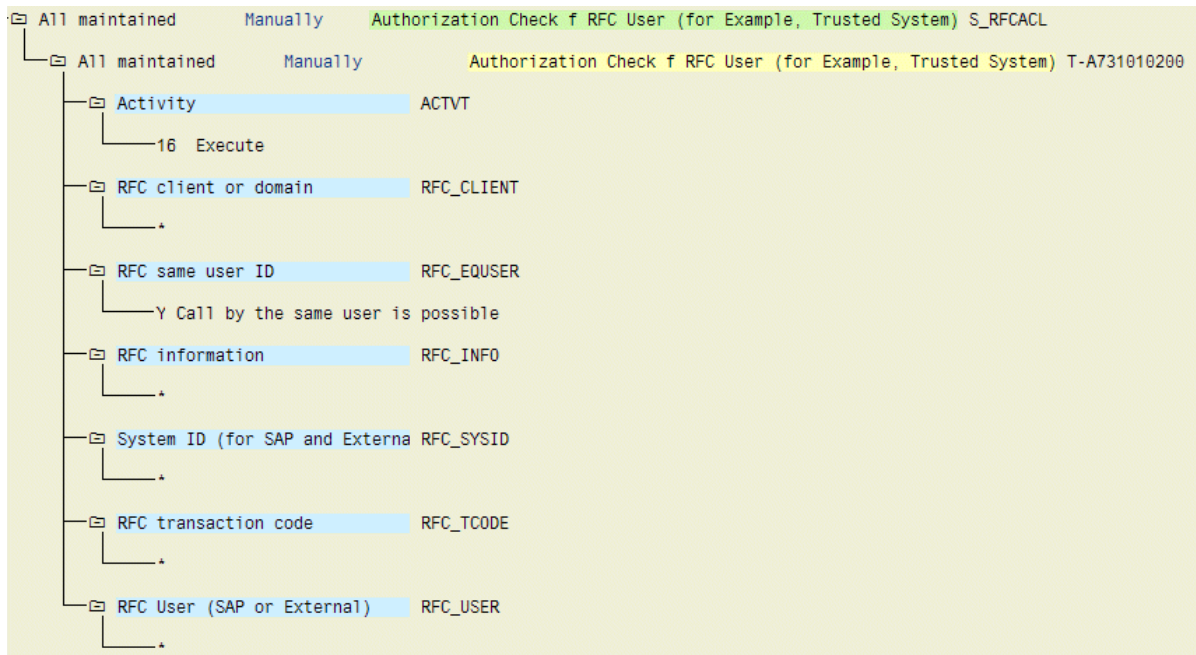


図 7: 「S_RFCACL」認証オブジェクト